

# 令和3年度 福祉教育実践研究会研修 開催要綱

## 1. 趣旨

新型コロナウイルスの蔓延による外出自粛やテレワークの推進により、ますます地域住民と社会とのつながりの希薄化に拍車がかかっており、社会的孤立等に対する取り組みとして、新たなつながりを意識した地域づくりが求められています。

今回の研修では、「地域で起こるコンフリクト」をお互いの考えや思いに触れる機会としてとらえ、参加者それぞれの立場から「地域で起こっているコンフリクト」の実態とコンフリクトが生まれる要因を考え、地域での具体的アプローチを検討することを目的に本研修実施します。

## 2. 対象者：①市町村社会福祉協議会の福祉教育事業担当者

②福祉関係職員（種別や経験等に関わらず広く御参加ください）

## 3. 日 時：令和4年3月15日（火） 13：30～16：30

## 4. 開催方法：Zoomを活用したオンライン研修会

## 5. 研修プログラム

時間	内容
13：00～13：30	Zoom入室（受付）
13：30～13：35	【開会／オリエンテーション】 京都府社会福祉協議会 福祉部 地域福祉・ボランティア振興課
13：35～13：55	【講義】 「地域をめぐるコンフリクトと学び ～多様性を認め合い思いやりを大切にする社会を目指して～」 日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 小林 洋司
13：55～14：55	【実践報告】 「現在、地域で起こっているコンフリクト」 ①京都市南部障害者地域生活支援センター 施設長 平田 義 ②社会福祉法人盛和福祉会 京都大和の家 総括施設長 早樫 一男
14：55～15：10	小休憩
15：10～15：25	【実践報告まとめ】 立命館大学 生存学研究所 客員研究員 松波 めぐみ
15：25～16：05	【グループワーク】 「身近で起こるコンフリクトについて～地域実践を考える～」
16：05～16：30	【全体共有・まとめ】 日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 小林 洋司
16：30	閉会

6. 講師の紹介（福祉教育実践研究会委員）

- ・小林 洋司 氏 日本福祉大学社会福祉学部 准教授
- ・松波 めぐみ 氏 立命館大学生存学研究センター 客員研究員
- ・平田 義 氏 京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」施設長
- ・早樫 一男 氏 京都大和の家 総括施設長

7. 申込方法について

- ・Google フォーム (<https://forms.gle/ds98Nia8tTRgCKXo7>) 又は申込書により、令和4年3月11日（金）までに申込みください。
- ・本会より、研修前日までに参加URL及び当日資料を指定のメールアドレスへ送付します。

8. 個人情報の取扱いについて

- ・本研修実施の際に得た個人情報は、本研修開催に必要な範囲のみで利用します。